

● 河川レンジャー養成講座二日目 (9日・土) 増水で場所・木津川流域センターへ移動

6月7月の梅雨時期のイベントでは降雨問題と川の増水にこれまで随分と悩まされてきました。この日の養成講座も前日からの増水が減少せず当日は早朝から小雨が降り続けました。川での生物調査や水中での救急体験はかなり難しいと予想していました。淀川沿線各地から参加される受講生の皆さんの学習場所が、初めて山城大橋となり随分うれしく期待していましたが、残念ながら増水が続き、砂州に本部の設置は難しく、木津川流域センターでの座学中心に変更となりました。これまで木津川本川での二日目の養成講座が座学中心になったのは初めての出来事でした。こうした変更もありましたが、河合先生と田中先生の熱心な講義に耳を傾け、レンジャー活動に必要な知識や心構えについてずいぶんと身に着けられ、以後の活動の基礎学習を深められたのではないのでしょうか。それにつけても午前6時前に現地状況把握のために早朝5時45分に到着されて、開催可否のために奮闘された田中実知世さんの頑張りに頭が下がりました。ご苦労様でした。

● 親子で遊ぼう学ぼう魚とり 参加呼びかけチラシ 4万枚を配布

参議院選挙があってあわただしい7月でした。子どもたちに早く案内チラシを配布しようと準備を進めましたが、やっと配布が完了しました。山城教育局管内の全小学児童への配布は約4万枚のチラシが必要です。印刷費もかなり高額になりますので、二つ折りは自分たちで折り上げて、その作業で児童数にあった枚数に小分けしました。それに二日かかりました。宇治市分の1万枚は月曜日11日になりましたが、8日の金曜日の午後には市町教育委員会に配布できました。反響はすごいものがあり、17日には3日間で約40名の参加申し込みが早くも届いています。残念ながら水曜日の天気予報では40%の降水確率なので実施は五分五分という判断です。当日スタッフは午前8時に山城大橋西詰上流側に集合をお願いしています。参加者の受付は9時30分です、場所を移動するので、受付時間には遅れないようにお越し下さい。

● 里山農園 教育棟 整理整頓ができる 広間実現 大いに活用を

20周年記念祝賀会の後、教育棟の整頓のために、備品の納入を控えてきました。約一か月が過ぎましたがきちんと整理して使いやすく納めようと深田理事長と山村常務理事の二人が10日の午前中整頓整理を行いました。椅子と机、テントの置き場所を工夫しました。残るものは大鍋やヤカン等什器類の収納が難しいようです。風雨にさらされないよう、人目につかないようになど、飲食に関わる器をしっかりと格納しなければなりません。大いに工夫して整頓していくつもりです。片づけていくと随分と広間が整い、自然に囲まれた素晴らしい施設であることが実感できます。この設備をどのように活用するのか、使いやすい施設にさせるのかが問われています。課題であったトイレ問題と駐車問題も一応解決できました。次は年間活用計画をしっかりと組むことでしょうか。取り組みながら不都合なところを改善していけばいいのではないのでしょうか。積極的な活用方法へのご提案をお願いいたします。

● 団地朝市 10日大いににぎわう

今月から初めて月二回の開催と決まり、初回の朝市が催されました。夏野菜の代表キウリ、ナスビ、トマトが所狭しと山盛りされました。当日は選挙の投票日で、かなりの出足があり、みずみずしい野菜をどんどん買っていただきました。これまでは30分で完売となるのですが、10時ごろには少し売れ残りましたが終了となりました。里山の会の接客数はこの日200人に新鮮な野菜を提供できました。ありがとうございました。また朝採りを行い、お店のスタッフを務めていただきました皆さんご苦労様でした。

● 今年もカヌーで大阪湾まで下ろう 日程 11月20・26・27日と決まる 宇治川からも桂川からもスタート 三川合流地点で落ち合う 今年で4回目となるカヌーでの大阪湾まで下る取り組みは、最上流から最下流までをつなぐことを最終の目的にして開催してきました。遊びカヌーの発祥の地・笠置からを第1目標にして3年間継続してきました。4年目の今年は、来年3月に実現する三川合流地点の流域拠点施設での合流を目指して、宇治川は伏見から、桂川は淀からも出発する3コースの取り組みを試みます。それぞれのコースに二人乗りカヌーを準備して一寸法師・お姫様・松尾芭蕉に扮したゆかりの人の衣装をまとった人物を載せて、三川合流地点で示し合わそうと計画しています。以後大阪湾までたどり着ければインパクトがあるのではないかと構想しています。

● 7月23日は大忙しの日程です 魚とりと交流発表会 9時30分から親子で遊ぼう学ぼう魚とりが12時30分まで開催、大至急後始末を行って13時00分から琵琶湖大津で始まる「近畿水環境交流会」に参加、15:00には里山の会の活動紹介発言が予定されています。続いて17:30から発表団体やスタッフ等によるアルコール抜きの懇親会が18:30まで予定されています。約50団体の皆さんとの交流が深められます。大いにご参加ください。

● 8月9・10日 現地視察研修会 日程決まる 参加者募集 昨年はこの時期静岡県島田市へ竹蛇籠の現地研修会に出かけました。この研修会での学習を活かして、竹蛇籠の製作講習会を成功させる力になりました。今年は里山農園の一層の充実を目指して愛知県美浜町の布土地区に作られているかつての磨き砂の生産地を、地域の歴史遺産として残されている公園を見学して、それを生かして普賢寺(里山農園)でも参考にできないかを学びます。また岐阜県海津町の展望台タワーを視察しながら長良川・揖斐川等の水害洪水対策を学びタワーの活用について説明をいただくことにしています。そして名古屋平和公園で里山の家を見学し、「面」としての里山のモデルを訪ねることにしています。そして世界一の大企業トヨタ自動車展示館を訪ねます。宿泊は知多半島の美浜町の民宿を予定しています。ここでは地元の有識者から里山活動などのお話をお願いしています。予算はできるだけ安価と考えています。参加希望者はご連絡ください。宿泊は民宿「新栄館」ですが。お盆休みを計画されたいところ、無理を言って営業をお願いしました。この見学研修会にはおなじみの桜谷保之先生がご同行いただき解説をいただきます。

● 7月18日(月)祭日 第2回夜の生き物調べ会 16時から20時まで 里山農園 京田辺市の普賢寺地区は昆虫も植物も豊かに繁盛している自然豊かな貴重な地域で、京都南部における誇れる貴重な場所です。6月には蛍が舞い、空にはオオタカが飛び、国蝶オオムラサキやカスミサンショウウオが生息しています。ここでは農業者が極力農薬使用を控えめにする営みが自然を支えているのではないのでしょうか。昨年からのこの地域で夜の生き物調べを行いました。里山農園に大きな教育棟が実現できて、梅雨であっても雨がしのげて夜の生き物調べが可能になりました。日頃こうした機会に恵まれることがありません。今回も昨年に引き続き前近畿大学教授の桜谷保之先生のご指導を得てみんなで夜の生き物を調べます。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。カナブンやクワガタ、カブトムシなどが飛んでくるかもしれません。期待しましょう。小雨決行 警報発令は自動中止 小学生は保護者同伴 駐車場は有ります。集合は普賢寺小学校前 16時です。申込みは不要で、現地受付。参加費は無料(希望者のみ資料代500円)、持ち物=帽子 水筒 弁当(夕食) 懐中電灯 虫よけ 双眼鏡 長袖長ズボン 手袋 筆記具 しっかりした靴 指導 前近畿大学教授 桜谷保之先生

● 魚とりのスタッフを求めています お手伝いをお願いします。